

会員の声

ドイツにおける移民の
介護施設の現況ナガタ
長多 ヨシエ
好恵*

2010年のドイツの高齢化率20.4%はイタリアと並び、日本の23.0%に次ぐ世界第2位となっている¹⁾。また、2040年の高齢化率は29.0%に達すると予測されている¹⁾。

ドイツは人口約8,200万人の内、外国籍を有する外国人人口は総人口の約9%を占める693万人程である(2011年)。外国人人口の出身国別ではトルコからの移民が最も多く、約161万人(23.2%)である²⁾。この161万人は2位イタリアからの移民約52万人(7.5%)、3位ポーランドからの移民約47万人(6.8%)と比較して極めて多い²⁾。移民が移住国で習得した第二言語について、高齢化や認知症などの際には、出身国の第一言語しか話すことが出来なくなってしまう言語回帰の状態となることが多い³⁾。1960年代にドイツに移住したトルコ系移民の第一世代⁴⁾は、現在では70代半ばとなっている。これらの人々は、高齢化や疾病などによって言語回帰が起きている可能性がある。このような背景から、トルコ系移民のための介護共同住宅が開設されている。

今回(2013年8月)、私はベルリンのトルコ系移民が経営するトルコ系移民の入居する介護共同住宅(定員16人)を見聞する機会を得た。現在、ベルリンでは定員20人以下の小規模な「介護共同住宅」が主流である。地方分権のドイツでは国としての法律で介護共同住宅が認められても各州における州法の整備が整っていなければ運用は困難である。ベルリンではベルリン州における州法が整っているため、他の州に先駆けて介護共同住宅が運用されている。介護共同住宅は日本のグループホームに類似すると思われるが、認知症の人だけではなく脳血管疾患によって要介護状態となった方も入居している。入居者は、一時的あるいは終の棲家として入居している。住宅は一般住民の居住する建物の一部を使用している。

ドイツの要介護度は、2013年より0~3の4段階に分類されている⁵⁾。介護保険給付対象者は、医療

保険の被保険者および民間介護保険被保険者の全年齢の人を対象としている⁶⁾。

トルコ系移民の介護共同住宅は、2010年12月に定員7人で開設したが、約1年間入居者は少なかった。その理由の一つは、トルコ人の中では介護は家族でするもので、他人に任せることへの理解が得られなかったためである。現在では理解が広がってきたようである。もう一つはイスラム教の異なる宗派(シーア派、スンニ派、アレヴィー派など)の人々が同一施設に入居したことであった。2013年8月現在では各宗派の相違を踏まえて、ベルリン市内に宗派ごとに分かれるように4施設の介護共同住宅が開設されている。開設はベルリン州の州法に基づいている。

看護師である経営者の開設動機は、トルコ系移民の「個の尊重」であった。経営者の話の中で印象的なことがあり、一つは“介護者が入居者に合わせるのではなく、介護者が何をしたいかである”すなわち、介護者は入居者がしてほしいと思うことを積極的に考えて入居している方と関わっていることである。もう一つは“私達はここに通っているのではなく、毎日この自宅に帰って来ているのです”との内容であった。“常に入居している人達とともにいるのですか?”という私の問いに“その通りです”とのことであった。介護する側と入居者は距離感が近く、介護共同住宅全体が家族的で非常に暖かい雰囲気に包まれていた。

移民(とくに一世)が移住した国において、高齢化や認知症により介護が必要となった際に、出身国の言語などの文化的背景を踏まえての介護は不可欠ではないかと考えられた。共同住宅は一般住民と同一建物内のため、住民同士の交流も可能な環境なのではないかと思われた。

このような機会を提供し、同行して下さったシャリテールベルリン医科大学公衆衛生大学院研究員、柏原誠先生(在ベルリン)に深謝いたします。

(受付 2014. 4.22)
採用 2014.11.25)

文 献

- 1) 認知症介護研究・研修センター. 認知症ケア高度化推進事業 海外認知症ケア情報 ドイツの認知症ケア動向 I : ドイツの高齢者の現状. http://www.dcnnet.gr.jp/retrieve/kaigai/houkoku_frg.html (2014年12月15日アクセス可能)
- 2) Statistisches Bundesamt. Statistisches Jahrbuch 2012. 2012. <https://www.destatis.de/DE/Publikationen/StatistischesJahrbuch/StatistischesJahrbuch2012.pdf> (2014年

* 札幌医科大学保健医療学部看護学科
責任著者連絡先: 〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
札幌医科大学保健医療学部看護学科 長多好恵

- 12月15日アクセス可能)
- 3) 大野 俊. エスニック・マイノリティが支える多民族社会の高齢者ケア：カリフォルニアの施設事例が日本に示唆するもの. 九州大学アジア総合政策センター紀要 2009; 3: 139-150.
 - 4) 田中翔太. ドイツのTVメディアにおけるトルコ系移民のドイツ語：「役割語」としての新たな研究の可能性. 人文 2012; 11: 125-142.
 - 5) 在ドイツ日本国大使館. ドイツにおける介護システム等について. 2014. <http://www.de.emb-japan.go.jp/nihongo/konsular/140530Dkaigo.pdf> (2014年12月15日アクセス可能)
 - 6) 金井 守. 2008年ドイツ介護保険制度改革の意味するもの：人間を中心とする開かれた介護を求めて. 田園調布学園大学紀要 2008; 3: 37-50.
-